

森に学び、
森を守る!

にちなん中国山地 林業アカデミーの

人材育成



令和4年4月4日、林業アカデミーにおいて第4期生の入学式が行われました。近年、全国的にも有名になり、2年連続で定員10名を上回る林業専修科12名(県内6名、県外6名)、林業研修科2名(県外2名)の研修生が林業への熱い想いを胸に新たな生活をスタートされました。

入学式直後の期待と不安でいっぱいの研修生を代表して3名の方に、アカデミーで学びたいことや林業への想いについてお話を聞きました。



専門高校で林業を学び、高校の先生から紹介を受けてアカデミーを知りました。高校の授業で、多くの森林で伐採適期を迎えていることや放置森林について学習しました。アカデミーでは高度な伐倒技術や、高性能林業機械の操作技術の習得に向けて研修を頑張りたいです。
将来は放置森林に手を入れ、管理された森林を増やしていきたいと考えています。



川下 翼さん
(鳥取市出身)

中学卒業時には林業にあまり興味はありませんでしたが、林業の専門課程のある高校へ進学し、林業について学んでいる間に、将来はこの分野で活躍したいと考えるようになりました。そこで、実践的な林業技術が習得できると聞いて、アカデミーへ進学しました。アカデミーでは木を伐採する際の「受け口」と「追い口」のより正確な作り方や、林業機械の操作技術の向上に向けて頑張りたいです。



三村 匠さん
(鳥取市出身)

大学で森林について学習する中で、野外での仕事に就職したいと考えようになり、アカデミーに進学することを決めました。アカデミーでは、木材の生産性の向上や森林の多面的機能を十分に発揮できる森林づくりのため、造林に関する技術や知識を深く学びたいと考えています。また、雨や雪の中作業することもあるので、身体的だけでなく、精神的に強くなりたいです。



磯野 柊太さん
(神奈川県出身)

同日野振興局 農林業振興課 電話:0859-72-2018 FAX:0859-72-2125

鳥取県の和子牛セリ価格が2年連続で全国1位の高値



農家で生まれたばかりの子牛
この子牛を約9カ月育てて和子牛セリに出荷します。



母牛の放牧

日野郡では春から秋まで妊娠した母牛を放牧して省力化を図っている農家もあります。

令和3年に鳥取県中央家畜市場(鳥取市場)で開催された和子牛セリの1年間の平均価格は83万2378円と全国96市場の中で第1位の高値となり、昨年に引き続き2年連続の全国1位を達成しました(日本農業新聞調べ)。今年の月別平均価格も、1月は3位、3月は1位、4月も1位と全国トップレベルの価格で取引され続けています(2月はセリが休み)。ちなみに日野郡では令和3年に34戸の和牛農家が138頭の和子牛を市場に販売し、県平均価格を上回る平均85万8311円で取引され、中には120万円を超える子牛も11頭いました。

このように鳥取県の和子牛が高水準で取引される理由は、高級な霜降り肉になる能力を持っている県有種雄牛「白鷗85の3」を父に持つ子牛の県外購買者からの引き合いが強いからです。鳥取市場では「白鷗85の3」の子牛が約6割を占めており、令和3年には最高値848万円で取引されるなど、全国から注目される市場となっています。「白鷗85の3」は現在12歳を超えて高齢となっているため、県は後継牛の育成に取り組んでいます。

現在、日野郡内には、使われていない牛舎もあります。この記事で和牛繁殖に興味をもたれた方は、日野農業改良普及所までご相談ください。(価格は全て税込価格)

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2027 FAX:0859-72-2090

鳥獣被害対策

トレイルカメラの話③

日野郡鳥獣被害対策
実施隊 木下卓也



トレイルカメラの話の終りは、撮影時によくある問題とその対策についてお話しします。

●問題1: 映った動物の大きさが良く分からない

自分で撮影しておいて、大きさが分からないなんてあるの?と思われるかもしれませんが、意外とあります。右の3枚の写真は、カメラを同じ柱に固定し、高さや角度を変えて撮影したものです。

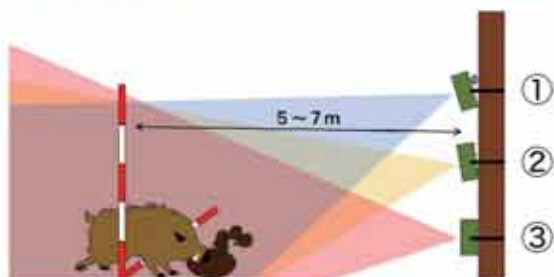
撮影位置が変わると、同じ大きさの物でも全然違う大きさに見えてしまいます。実際の撮影に入る前に、撮影場所に赤白ボールやメジャーを当てて撮影しておくことで、動物の大きさが分かりやすくなります。

●問題2: 暗くて何がいるのか見えない

この問題の一番の要因は、撮影対象物とカメラの距離にあると思います。赤外線フラッシュ自体は10mくらいまで届く仕様であっても、撮影条件(霧など)によっては十分に明るさを確保できず、暗くなってしまうのです。夜間の撮影は、広く遠くまで撮影するのは困難です。対象物までの距離は5-7mくらいがちょうど良いように思います。

トレイルカメラを使ってみたいけど、上手く撮影できないという場合は、お気軽にご相談ください。

同日野郡鳥獣被害対策協議会 電話:0859-72-1399



お詫びと訂正

前号の日野振興センターだよりNo.36(令和4年3月発行)の2ページに掲載しました『たたら製鉄の技術を伝える「鉄山秘書」の著者 下原重仲 敬事業』の「恭敬フォーラム」の記事の中で、江府町立図書館司書のお名前が誤りがありました。正しくは、中島昭生司書です。ご本人をはじめ、関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

日南町の農事組合法人が「星空舞栽培コンテスト」で最優秀賞受賞

「星空舞」のブランド化推進に向けて

近年、コロナ禍等によって米の消費が低迷し、米価が下落していることから、水田農業を営む農家が苦戦を強いられる状況にあります。

このような中で、県では、各種PR活動によって、県産新品種である「星空舞」のブランド確立に向けた取り組みを推進するとともに、米の販売促進を応援しています。

第3回「星空舞」栽培コンテストで

「矢原一心ファーム」が最優秀賞を受賞!

「星空舞」の栽培技術向上を目指す取り組みとして実施されている、「星空舞栽培コンテスト」は、令和3年度で3回目の開催となり、日南町茶屋(標高約500m)の「農事組合法人 矢原一心ファーム(代表理事 木山篤志氏)」が最優秀賞を受賞されました。

日南町の米生産者による受賞は2年連続で、日野郡のお米の食味、品質の良さが実証されました。



星空舞の田植風景

矢原一心ファーム木山氏



星空舞パッケージ

「星空舞」も米の食味ランキング「特Aランク」獲得を目指します

「星空舞」は、これまで標高300m以下で作付けを推奨されてきましたが、令和4年度から標高500mまで拡大され、日野郡内で広く普及できるようになりました。

令和3年度に日本穀物検定協会が実施した米の食味ランキングで最高評価の「特Aランク」を獲得した鳥取県産「コシヒカリ」「きぬむすめ」に続き、「星空舞」も特Aランクの獲得を目指して、日野郡の米生産者が「星空舞」のブランド確立をリードできるように、県及びJA等関係機関が一致団結して支援していきます。

同日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090